（法第10条第１項第７号）

**令和○○年度事業計画書**

　　　　　　 特定非営利活動法人○○○○○

１　事業実施の方針

　令和○年度は，○○事業の実施にあたり○○についての調査研究を行い，○○の実施に向けて具体的な検討を行う。また，○○事業については，○○町において一般住民を対象にしたフォーラムを開催し，○○に対する町民への普及・啓発を図る。

２　事業の実施に関する事項

　(1) 特定非営利活動に係る事業

（記載例その１：主に定期的に事業を開催する場合）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事　業　名 | 事　　業　　内　　容 | | 実施予  定日及  び時間 | 実施予定場所 | 従事者  の予定  人　数 | 受益対象者  の範囲及び  予定人数 | 事業費の予算  (千円) |
| ○○○○事業 | ○○に関するイベント  「○○フェスティバル」の  開催  ・講演会  ・○○の実演及び体験 | | 10月○日  10:00～  16:00 | 和泊町○○  センター内の  ○○広場 | ５０人 | 一般県民  ３００名 | ５００ |
| △△△△事業 | ○○に関する「○○○  指導者研修会」の開催 | | 年４回 | 対象地域ごと  に県内４会場 | ２５人 | ３００人 | ４０ |
| 内  訳 | 初級編（年３回）  活動の基礎講座 | ４月○日  ９月○日  12月○日 | 鹿児島市○○会館  奄美市○○公民館  鹿屋市○○ｾﾝﾀｰ | ５人  　５人  　５人 | ○○活動に  従事する者  各１００人 |
| 上級編（年１回）  活動の実践講座 | ２月○日  ～○日 | 与論町○○ｾﾝﾀｰ | １０人 | 初級編の受  講者 |

（記載例その２：主に随時実施する事業の場合）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事　業　名 | 事　　　　業　　　　内　　　　容　　　　等 | 事業費の予算  (千円) |
| □□□□事業 | 事業内容：・○○に関する情報の収集及び提供  ・ボランティアの登録・斡旋  ・○○活動に関する相談実施時期  実施時期：４月～翌年３月  対象者：一般県民及び○○活動を行う県内の団体 | ２５０ |
| ◎◎◎◎事業 | 事業内容：○○に関する活動を行う団体が開催する研修会及び勉強会などへの講師（正会員のうち○○の資格を有する者）の派遣  実施時期：６月～１２月  対象者：○○活動を実施する県内のＮＰＯ，企業，行政及び個人のグループなど | １１５ |

　(2) その他の事業

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事　業　名 | 事　　　　業　　　　内　　　　容　　　　等 | **事業費の予算**  (千円) |
| ▲▲▲▲事業 | 事業内容：○○活動に関する書籍，法人のマーク入りＴシャツ及びコーヒーカップの販売  販売場所：法人事務所，各種イベント会場及び○○センター売店 | １２０ |
| ●●●●事業 | 事業内容：　会員に対する研修事業，研修旅行の実施 | ８０ |

【作成上の留意点】

1. 用紙の大きさは，日本工業規格Ａ４とすること。
2. 設立当初の事業年度及び翌事業年度の事業計画書をそれぞれ作成すること。
3. 特定非営利活動に係る事業とその他の事業を明確に区分して記載すること。
4. 事業実施の方針については，当該年度の事業計画実施の重点目標，その取り組み方などを記載すること。
5. 定款に定める事業ごとに，事業名，事業内容，実施予定日時，実施予定場所，従事者の予定人数，受益対象者の範囲及び予定人数並びに支出見込額などがわかるように作成すること。
6. 事業名は，定款第５条に記載された事業名で統一すること。
7. 事業内容は，活動の具体的な内容がわかるよう詳しく記載すること。
8. 実施予定日は，設立初年度については法人設立（予定）日以降について記載すること。
9. 受益対象者の範囲及び予定人数は，「受益対象者」と「予定人数」のどちらも記載すること。
10. 事業別に，事業費の予算の合計額と活動予算書の事業費の計とを一致させること。
11. 定款でその他の事業を規定しているが当該年度に事業を実施しない場合は「(2)その他の事業　今年度は実施せず」などと記載すること。